

謹賀新年

Vol.50

ASAKURA CONFERENCE OF NURSING
CARE INSURANCE BUSINESS

朝倉
介護保険
事業者協議会

会報

朝倉介護保険事業者協議会 会報
Vol.50 平成 27 年 1 月 31 日発行
(通巻 50 号)

会員の皆さま平成 27 年あけましておめでとうございます。

希望に満ちた明るい年になれますことを念じて、今年もご指導・ご鞭撻の程を宜しくお願い致します。旧年中は、ひとかたならぬご協力を賜りまして、2 期目の初年度を登りつめようとしています。このまま登り上がりたいと考えております。

昨年途中に、当会の為に長年ご尽力いただきました多田副会長が一身上のご都合により勇退されました。幸いにも同朝倉市社会福祉協議会より、理事の矢野四郎様を後任にご推薦頂き、新執行部が 11 月よりスタートする事となり、多田様、矢野様に感謝しています。

本年は、皆さまご承知のように社会保障制度の改革を迎えており、行政・医療・保健・福祉のさらなる結末が望まれております。開設以来 15 年の節目を迎える当会の歴史を踏まえて、諸先輩、関係者の皆さま方のお力を頂きながら、各行政区分に於いて、包括支援システムの構築に頑張っ参る所存です。どうぞ宜しくお願い致します。皆さま方のご発展ご健勝をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

会長 出水 清治

副会長交代のお知らせ

4 期(7 年)にわたり協議会の副会長を務めてこられた多田悦子氏が、事情により昨年 10 月末を以て退任されました。後任に、朝倉市社会福祉協議会の理事を務めておられる矢野四郎氏が役員会で選任され、11 月度の拡大運営会議において任命辞令書が交付されました。

副会長就任のご挨拶

この度、多田悦子副会長の後任として選任されました。

少子高齢化が進む中、介護事業が果たす役割はますます重要性を増しています。殊に、団塊の世代の高齢化が目前に控え、その対応が急務となっています。また最近では、在宅療養も叫ばれており、ホームヘルパー、ケアマネージャー、ボランティア等の養成も喫緊の課題となっています。

地域が抱える課題は山積していますが、協議会の副会長として、一つ一つの問題に真摯に取り組み、会員の皆様・地域の皆様とともに対応・解決していきたいと考えています。

皆様のご支援ご協力を心よりお願い申し上げます。就任のご挨拶といたします。



社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会
理事 矢野 四郎

協議会ホームページへ今すぐアクセス！ <http://asakura.in>

朝倉介護

検索

事業報告 I 第2回スタッフセミナー

- 「高齢者の服薬管理」 第1部 在宅医療における薬剤師の役割
第2部 ひとりひとりの患者さんにあった薬剤、調剤方法の選択



平成26年9月24日(水)、朝倉市総合市民センターで、平成26年度第2回スタッフセミナー「高齢者の服薬管理」が開催されました。

今回は、朝倉薬剤師会より2名の講師を招き2部構成の研修会形式でした。

第1部は内田麻梨子氏より「在宅における薬剤師の役割」とのテーマにて講演頂きました。

薬剤を保管するうえで必要な知識や、薬が及ぼす人体の影響、飲み忘れなどによる残薬剤費が年間約500億円に上ると推計されている事などの問題を上げられ、地域高齢化が進むなか、できる限り住み慣れた地域で必要な医療・介護サービスを受けながら、患者さんが安心して自分らしい

生活を送れるような社会をつくるためには、地域の医療・介護機関が連携していく事が重要であり、薬剤師も一緒に関与することで改善が期待できるのではないかと語られました。他にも、安心・安全に「飲む・飲んでいただく」ためには薬剤師の視点も重要で、多職種の方々と連携を図って課題に対して取り組んでいきたい、と多職種連携の必要性等を講演されました。



最後に「施設や在宅で何かお困りのことがございましたら何でもご相談ください。薬剤師会はもちろん、どの薬局薬剤師も喜んで対応させていただきます」と括られました。

第2部は平位浩一氏より「ひとりひとりの患者さんにあった薬剤、調剤方法の選択」とのテーマで、大きく「嚥下」「患者さん情報」「麻薬」「在宅」の4つに分けて丁寧な解説・説明がなされました。

患者さんにあった薬剤を選択する為には患者さんからの情報提供がとても重要な事であり、またお薬手帳も救急時、救急隊が手帳を見れば普段治療してる病気を推測でき、副作用を疑ったり、処置の仕方を考える時に非常に役立つ事や残薬の処理方法など、時折ユーモアを交えながら講演されました。

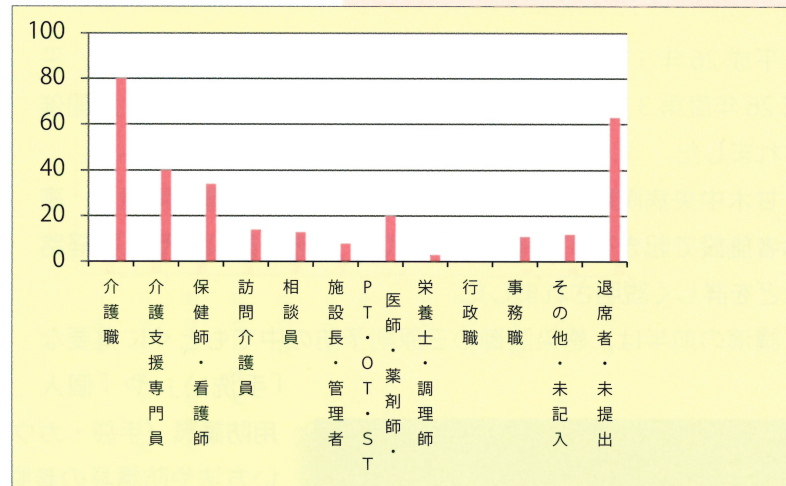
講演の最後には「薬に関する相談はなんでも気軽にして下さい」と括られました。



事業報告 I 第2回スタッフセミナー アンケート結果

(1) 参加者の状況

参加者数298名		
一般		
1	介護職	80
2	介護支援専門員	40
3	保健師・看護師	34
4	訪問介護員	14
5	相談員	13
6	施設長・管理者	8
7	医師・薬剤師・PT・OT・ST	20
8	栄養士・調理師	3
9	行政職	0
10	事務職	11
11	その他・未記入	12
12	退席者・未提出	63
合計		298



(2) アンケートの集計

① 勤務されている業種

業種	
居宅介護支援	34
訪問介護・入浴	16
訪問看護	5
訪問リハビリ	2
通所介護	23
通所リハビリ	16
支援センター	3
居宅療養管理	2
グループホーム	16
介護福祉施設	64
介護保健施設	15
小規模多機能	4
病院・医院	1
行政	1
福祉用具貸与・住宅改修	3
その他	19
合計	224

② 現在の職種

職種	
介護職	80
相談員 (病院・施設・福祉用具貸与)	13
訪問介護員	14
介護支援専門員	40
看護師	33
保健師	1
OT	1
PT	1
ST	0
医師	1
薬剤師	17
栄養士	1
調理師	2
管理者	8
事務職	11
行政職	0
その他	1
合計	224

③ 経験年数

経験年数について		
1	1年未満	16
2	1年以上3年未満	41
3	3年以上5年未満	21
4	5年以上10年未満	53
5	10年以上	90
6	未記入	3
合計		224

④ 講義内容について

アンケート回答者数 224名		
1	非常に良かった	53
2	良かった	135
3	どちらともいえない	18
4	あまり良くなかった	0
5	未記入	18
合計		224
アンケート回答率		78.8%

(3) ご意見をお聞かせ下さい

※同様の意見の多かったものを抜粋

① 講義内容に関するご意見	<ul style="list-style-type: none"> ・薬の具体的な話が聞けて勉強になりました。 ・在宅における薬剤師の方ありかたが必要な事だと分かりました。薬の取り扱い方法もいろんな事があったので勉強になりました。 ・薬の服薬・管理について知ることが出来ました。薬には様々な種類・保管方法があることを知り、取り扱いに気を付けたいと思いました。 ・薬手帳の重要性、麻薬のレスキューなど、とても興味深かった。 ・専門的すぎて難しかった。
② 今後のスタッフセミナーの内容・在り方	<ul style="list-style-type: none"> ・時間を短くし、内容を濃くしてほしい。 ・専門的な話を聞くことは参考になって役立つことが多いと思います。 ・介護の現場で役立つ内容を考えてほしい。 ・行政サイドから、これからの介護保険について話が聞きたい。
③ 協議会への要望等	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険制度改正についての情報を知りたい。 ・次年度も、薬剤師会に発表の機会を設けてほしい。 ・席が空いているにも関わらず、最後部に立ったまま私語をされている方がいた。静かに聞か退席してほしい。 ・役に立つセミナー等の案内をお願いします。

事業報告Ⅱ 第3回スタッフセミナー

「高齢者の感染対策」

平成26年11月20日(木)、朝倉市総合市民センターで、平成26年度第3回スタッフセミナー「高齢者の感染対策」が開催されました。

甘木中央病院臨床検査室室長、柿原康夫氏を講師に迎え、高齢者施設で起きやすい感染症について、その感染源や感染経路などを詳しく説明されました。

講演の前半は、感染防御の三原則予防の中でもとくに重要な「手洗い」や「個人



用防護具(手袋・ガウン・マスクなど)」について、正しい手洗い方法や防護具の着脱手順を、イラストや動画を用いながら丁寧に説明されました。

後半は、ノロウイルス・疥癬・インフルエンザ・結核・薬剤耐性菌などといった、高齢者施設あるいは集団施設の中で発生しやすい感染症を個別に取り上げ、それらの症状や、発生時における適切な対処の仕方や注意点、予防策などのポイントを分かりやすく説明されました。

また、利用者の健康管理という面においては、「利用者が高齢であるため症状がはっきりとは現れにくく、見た目には軽症に見えても重篤な病態に進行していることもあります。日頃から職員が、栄養状態や食事摂取状況・バイタルなどをきちんと把握し、『普段の様子とは違う』ことにいち早く気付くことが大切です。」と語られました。



◆感染症に対する対策の柱◆

1) 感染源の排除

①嘔吐物・排泄物 ②血液・体液・分泌物 ③使用した器具・器材 ④左記に触れた手指で取り扱った食品など

2) 感染経路の排除

①接触感染 ②飛沫感染 ③空気感染 ④血液媒介感染 ※感染経路に応じた適切な対策を取ることが重要

3) 宿主(人)の抵抗力の向上

健康管理・衛生管理を徹底し、日常から利用者の抵抗力を高めておく

◆感染対策で大切なこと◆

1) 納得できる

2) 持続できる

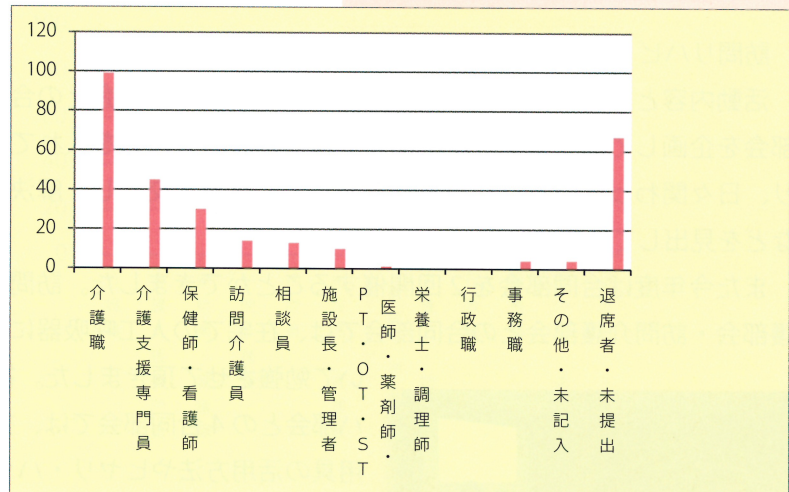
3) 結果が出る

エビデンスやガイドラインに基づく感染対策を、施設の事情に合わせて上手に選択していくことが大切

事業報告Ⅱ 第3回スタッフセミナー アンケート結果

(1) 参加者の状況

参加者数287名		
一般		
1	介護職	99
2	介護支援専門員	45
3	保健師・看護師	30
4	訪問介護員	14
5	相談員	13
6	施設長・管理者	10
7	医師・薬剤師・PT・OT・ST	1
8	栄養士・調理師	
9	行政職	
10	事務職	4
11	その他・未記入	4
12	退席者・未提出	67
	合計	287



(2) アンケートの集計

① 勤務されている業種

業種	
居宅介護支援	42
訪問介護・入浴	14
訪問看護	3
訪問リハビリ	2
通所介護	26
通所リハビリ	4
支援センター	
居宅療養管理	
グループホーム	28
介護福祉施設	61
介護保健施設	26
小規模多機能	3
病院・医院	13
行政	
福祉用具貸与・住宅改修	3
その他	
合計	225

② 現在の職種

職種	
介護職	99
相談員 (病院・施設・福祉用具貸与)	13
訪問介護員	14
介護支援専門員	45
看護師	30
保健師	
OT	1
PT	
ST	
医師	
薬剤師	
栄養士	
調理師	
管理者	10
事務職	4
行政職	
その他	3
合計	219

③ 経験年数

経験年数について		
1	1年未満	19
2	1年以上3年未満	42
3	3年以上5年未満	23
4	5年以上10年未満	46
5	10年以上	87
6	未記入	
	合計	217

④ 講義内容について

アンケート回答者数 190名		
1	非常に良かった	61
2	良かった	120
3	どちらともいえない	8
4	あまり良くなかった	1
5	未記入	
	合計	190
	アンケート回答率	78.4%

(3) ご意見をお聞かせ下さい

※同様の意見の多かったものを抜粋

①講義内容に関するご意見	<ul style="list-style-type: none"> ・予防対策について良く理解できた。分かりやすかった。 ・再確認できた。 ・手洗いの大切さが分かった。 ・職場で実践していこうと思う。 ・自分たちの意識が大切だと分かった。
②今後のスタッフセミナーの内容・在り方	<ul style="list-style-type: none"> ・時間が長すぎるように思う。 ・平日であり、翌日の仕事に影響がない程度の研修時間にしてほしい。 ・平成27年度から介護保険制度が変わるので、どのように変化していくのか学びたい。 ・1時間程度の講義にいただいた方が集中して傾聴できると思う。
③協議会への要望等	<ul style="list-style-type: none"> ・遠くから来ているので、20時30分くらいまでに終了してほしい。 ・会場が寒かった。空調を検討してほしい。 ・研修やいろいろなことに対する成功事例等を知りたい。 ・資料の文字が小さい。

事業報告Ⅲ 部会活動報告

訪問リハビリテーション部会

香月病院 石井 真理

訪問リハビリ部会は、現在4事業所にて活動しています。

活動内容としては、年に5回の定例会、年1回の他部会との合同部会を企画しております。定例会では症例検討会に力を入れており、日々関わっているご利用者様を通して、意見を交わし、解決策などを見出しています。

また今年度は合同部会を2回開催することができました。訪問看護部会・訪問介護部会との合同部会では、在宅での人工呼吸器につ



いて勉強させて頂きました。福祉用具部会・通所介護部会・通所リハ部会との4合同部会では、多くの事業所が集まり、新商品の福祉用具の活用方法やヒヤリ・ハット事例を紹介して頂いたり、グループに分かれて意見交換会を行いました。さまざまな角度からの意見があり、情報を共有でき、知識の向上を図ることができました。

今後も当協議会の在宅リハ分野として、地域の方々に必要とされるように努めていきたいと思ひます。



事業報告Ⅳ 部会活動報告

介護老健療養施設部会

介護老人保健施設アスピア 吉田 真仁

介護老健療養施設部会は、介護老人保健施設6事業所・介護療養型医療施設1事業所のあわせて7事業所で活動しています。活動内容は、事務長会(年2回)・職種別部会・研修会(勉強会)となっています。また、管理栄養士による「あさくら食文化を学ぶ会」の活動も行っています。

今年度は、6月に第1回事務長会を開催し、各施設の問題を持ち寄り意見交換を行いました。7月の職種別部会では各施設の看護師・介護職員・相談員・管理栄養士・理学療法士・作業療法士が集まり、各部門現場職員による意見交換・情報交換が行われました。

今後は、研修会・事務長会を開催し、今以上に交流を深め、各施設のサービス充実とともに、問題点の解決・業務改善に努め、様々な多職種がお互いの役割を理解し合い、それぞれの専門知識・技能の向上を目標にしたいと思ひています。また私ども、介護老健療養施設部会がご利用者様の自立支援・在宅復帰を目指し今後も頑張っ行ってきたいと考えていますので、宜しくお願い致します。



Hobby Box

～私の好きなこと～

グループホームゆうゆう 日隈 ゆか さん

「趣味」と言えるかどうかは分からないのですが…何が好きかと考えると、迷うことなく歌を歌うことだと答えます。

子供の頃、家にあったカラオケセットで歌っているうちに歌うことが好きになりました。大人になってからは、友人などとカラオケに行き歌うことが増えてきました。歌うことはもちろん好きなのですが、大きい声を出すことによってストレスの発散にもなり、とてもスッキリします。

テレビか何かで、大声を出すことは体に良いと言っていたのを思い出して、自分なりに調べてみたのですが、『思い切り大声を出すと、心がスッキリするだけでなく、血行が良くなり、腹筋が収縮しておなかの働きも良くなる。すると腰にも良い影響を与え、腰痛を和らげる効果もある。』と知ることができました。

自分の好きなことをしながら、ストレス発散でき、体にも良いということが分かり、以前にも増して歌が好きになりました。お風呂で歌うと、特によく響いて気持ちよく歌うことができます。

皆様も、ストレス発散の一つの方法として、大きい声で歌ってみてはいかがでしょうか。



My Way

有限会社スキップの森山 誠二さん



森山さんとは担当者会議などでご一緒させていただいてからの付き合いですが、利用者様の「どうすれば安全に負担なく過ごせるか」などの相談に乗って頂いたり、福祉用具・住宅の面などでアドバイスを頂いたりしています。いつも真剣な対応をして頂く、頼りになる人です。

森山さんは、建築会社などを経て、現在の有限会社スキップで福祉用具の営業を中心に活躍されておられる、日田市にお住いのイケ面（イケてるではなく、お婿に行けてない）です。お休みの日はソフトボールチームの活動やテニス、愛犬（コーギー）の散歩などをされているそうです。

福祉用具の専門相談員として、用具の知識だけでなく使用環境などを踏まえた細かな対応をされることから、福祉用具を必要とされる方々やご家族様からの信頼も厚い、いつも元気で笑顔が素敵な親しみのある人です。これからもがんばってください。

紹介文：「デイサービスもやい 上野博子」さん

今回は 森山 さんからの紹介で「原鶴温泉病院ケアプランサービス 松葉瀬富子 さん」です！

介護スタッフリレーコラム

「最近の思い」

東峰村社協ケアプランサービス 和田 博

今年度、居宅介護支援部会の副会長をさせていただいていますので、北筑後地域在宅医療推進協議会や朝倉在宅チーム医療研修会などと、いろいろな会議や研修会への参加の機会をいただいています。

その中で思うことは、「着実に地域包括ケアシステムの構築に向け準備が進んでいるんだな」ということと、そのためには「他職種連携と顔の見える関係づくりが必要だな」ということです。特に、来年度から介護保険法上に位置付けられる地域ケア会議は、「個別事例の検討を通じて、他職種協働によるケアマネジメント支援を行うとともに、地域のネットワーク構築につなげる」という目的があります。他職種協働では、他業種の専門職の方々が会議に参加されるので、日頃から顔の見える関係づくりを築いておくことも必要ですが、それ以上に他業種の基礎的な知識(医療や薬剤など)を、ある程度理解できるスキルも求められていると思います。

自分自身、福祉系のケアマネのため医療知識などに不安な面も多いですが、今後は重度の要介護高齢者や医療の必要な高齢者の方々が在宅で生活されるケースも増えて来ると考えられますので、その方々が住み慣れた地域で安心して生活が送れるように支援するためにも、自分自身のスキルアップを図る必要をひしひしと感じています。

また、来年度の制度改正では、ケアマネ研修制度の見直しなどを含め今以上に資質の向上を求められるなど、ケアマネジャーを取り巻く環境はより厳しい状況になってくると考えられますが、今後もご利用者様やそのご家族様、また地域の方々の笑顔がたくさん見られるように頑張っていきたいと思っています。

徒然日記

認知症対応型通所介護事業所うらうめ 熊谷 真由美

～無理しない活動～

学生の頃ボランティアサークルに所属していました。主な活動は、重度心身障害者施設や障害児のお宅への訪問、療育キャンプや募金活動への参加、福祉イベントのお手伝いなどでした。高校までボランティア活動など考えたこともなく、初めての土地で、数あるサークル活動の中から何故選んだのか。“青い鳥”のサークル名に魅かれた…？ 動機はさだかではありませんが、初めてのことに戸惑うこともなく楽しく活動できたのは若さ故だったのかもしれませんが。あれから30年、老後を考え趣味活動を思いめぐらせるも、これといって打ち込めるものもなく、でも「何かやってみよう」と昨年からは地域の配食弁当作りに参加しています。仕事の都合で参加で

きない時も「いいとよ。ボランティアなんだから無理せんで…。」と言ってもらい、時には億劫になりながらも一年間続けることができたのは、膝や腰の痛みを押しながら元気いっぱいその時間を楽しんでいる高齢の会員の皆さんの姿と優しさに感化されたこと。楽しみながら明るく活動している皆さんを見習い、無理しない活動を続けていきたいと思っています。



編集後記

新しい年を迎え1ヶ月が過ぎ、寒さも厳しい季節になりましたが、皆様元気にお過ごしですか？

一年の中では大寒(1月20日)を過ぎた1月下旬から2月上旬が最も寒いと言われており、インフルエンザやノロウイルスなどの感染症も流行しやすい時期になっています。体調を崩さない為にも、日頃からの手洗い、うがいに、食事や睡眠を十分にとることが大切です。

また今年の4月には介護保険制度の改正が予定されています。利用者様や地域の皆様へ負担なく、スムーズにサービスを提供できるように、私たちも情報を共有し取り組んでいけたらと思っています。加えて、今年も変わらぬ皆様のご協力をお願い致します。(石井)

事務局

朝倉介護保険事業者協議会 事務局
〒838-0022 福岡県朝倉市城 859
社会福祉法人 宏志会
介護老人福祉施設 きらく荘
TEL(0946)21-1833 FAX(0946)21-1883

編集/発行所

朝倉介護保険事業者協議会 広報部
〒838-1505 福岡県朝倉市杷木穂坂 59-1
社会福祉法人 朝倉恵愛会
介護老人福祉施設 日迎の園
TEL(0946)62-0007 FAX(0946)62-1166
印刷/井上総合印刷株式会社